

請 願 文 書 表

(令和5年2月20日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第23号(5.2.9) こどもの医療費を所得制限なしに高校3年生まで無料にすることを求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気がある。子どもの病気の早期発見・早期治療を支え、全ての子どもたちの健やかな成長を保障するために医療費の心配をなくすことは重要である。</p> <p>子ども医療費助成制度は、免疫力が低く病気にかかりやすい子どもに早期発見・早期治療を促す施策としてだけでなく、有効な少子化対策として全国的に定着してきた。</p> <p>今、兵庫県下では市民の願いと自治体の努力で41市町のうち神戸市を除く40自治体で中学3年生まで通院・入院とも無料になっている。また、高校3年生まで通院・入院無料の自治体も16市町にまで広がっている。神戸市においては、今年10月から、高校3年生まで助成が広がったのは大変喜ばしいことだが、子育て世代が望んでいるのは無料化である。「なぜ神戸市だけ無料ではないの。」「どこに住んでも子どものいのちの大切さは同じ。子どもの医療費は高校卒業まで無料にしてほしい。」という子育て世代の要求は切実である。</p> <p>どこに生まれ、どこに住んでも、全ての子どもたちに必要な医療を保障すべきである。神戸市も人口が減り、少子化が進んでいる。子どもの医療費が高校3年生まで無料になれば、子育て世代が安心して神戸市で暮らすことができるようになり、人口減少にも歯止めがかかると思う。子どもの医療費が自己負担など経済的事情によって左右されてはならない。</p> <p>私たちは窓口での自己負担をなくし、いつでも医療を受けられ、安心して子育てができる神戸市を目指す。</p> <p>よって、子どもの医療費を所得制限なしで高校3年生まで無料にするよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 新日本婦人の会 中央支部 大 野 聖 美 ほか9名</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 大かわら 鈴子 あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>予算特別委員会</p>

新日本婦人の会

代表	中央支部	大野聖美	神戸市中央区
	東灘支部	支部長 蟻塚ひろ子	神戸市東灘区
	灘支部	支部長 西尾桂子	神戸市灘区
	中央支部	支部長 前田安枝	神戸市中央区
	兵庫支部	支部長 高橋房子	神戸市兵庫区
	北支部	支部長 稲波悦子	神戸市北区
	長田支部	支部長 栗田皎江	神戸市長田区
	須磨支部	支部長 関 和枝	神戸市須磨区
	垂水支部	支部長 岡本初美	神戸市垂水区
	西支部	支部長 林 真澄	神戸市西区



紹介議員

代表 大から 鈴子
あわはう 富子

こどもの医療費を所得制限なしに高校3年生まで

無料にすることを求める請願

^趣
【請願主旨】

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子どもの病気の早期発見・早期治療を支え、すべての子どもの健やかな成長を保障するために医療費の心配をなくすことはますます重要となっています。

こども医療費助成制度は、免疫力が低く病気にかかりやすい子どもに早期発見・早期治療を促す施策としてだけでなく、有効な少子化対策として全国的に定着してきました。

いま、兵庫県下では市民の願いと自治体の努力で41市町のうち神戸市をのぞく40自治体で中学校3年生まで通院・入院とも無料になっています。また高校まで通院・入院無料の自治体も16市町にまでひろがっています。神戸市においては、今年10月から、高校まで助成がひろがったのは大変喜ばしいことですが、子育て世代が望んでいるのは無料化です。「なぜ神戸市だけ無料ではないの」「どこに住んでもこどものいのちの大切さは同じ。こどもの医療費は高校卒業まで無料にしてほしい」という子育て世代の要求は切実です。

どこに生まれ、どこに住んでも、すべての子どもに必要な医療が保障されるべきです。神戸市も人口が減り少子化がすすんでいます。子どもの医療費が高校3年生まで無料になれば、子育て世代が安心して神戸市で暮らすことができるようになり、人口減少にも歯止めがかかると思います。こどもの医療が自己負担など経済的事情によって左右されてはなりません。

私たちは窓口での自己負担をなくし、いつでも医療を受けられ、安心して子育てができる神戸市をめざして、以下のとおり請願します。

【請願項目】

1. こどもの医療費を所得制限なしで高校3年生まで無料にしてください。